



今回は、加茂が(長野市)のみんなとまわったよ!

11階

11階のロビーからは、長野市街と周りの山々が見わたせるよ!



信毎を取材してみよう!



信濃毎日新聞の新聞づくりや記者たちの本拠地とも言えるのが、長野市にある信毎本社です。たくさんの方に、新聞に興味を持ってほしいと、本社の中はだれでも見学ができます。みんなも、信毎を訪れて、どんなふうに新聞をつくっているのか取材してみませんか。地域活動部もここにあるよ!



新聞作り教室

希望者は、パソコンを使っての簡単な新聞づくりも体験できます。担当の社員がていねいに教えてくれるよ!

編集局



5階は記者がいる編集局のフロア。「報道部」、記事の配置や見出しを考える「整理部」などがあり、毎日の新聞を協力して作っていきます。地域活動部もここだよ!

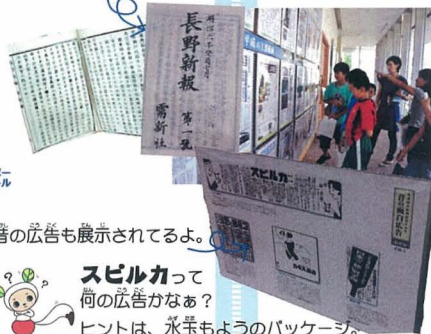


地上12階
高さ60.95m
東西40m

展示

2階は講堂があり、会議やイベントに使われます。昔の新聞や取材・印刷道具などの展示もあるよ。ソファにすわって外をながめるのもgood!

創刊第1号の「長野新報」(1873年発行)「信濃毎日新聞」はここから始まったんだ。



昔の広告も展示されてるよ。

スピルカって何の広告かなあ?

ヒントは、永玉もようのパッケージ。

きつ茶

エントランスホール



1階ホールは、みんなに開放しています。きつ茶や、信毎の本の展示コーナーもあるよ。信毎の過去の紙面記事が調べられるデータベースが無料で使えるよ。

《開放》平日 8:45-18:00 《きつ茶》平日 9:00-17:00
土 8:45-17:00 土 10:00-15:00

日曜、祝日はお休みです

次回の取材教室は

「たんけん 信濃の国 姨捨編 ~はいくを作ろう!」

10月30日(日) 10:00~12:45

- 【場所】 姨捨観光会館(千曲市八幡)
- 【講師】 俳人 神野紗希さん(28)
- 【定員】 20人程度
- 【対象】 4~6年生くらい

俳句を研究しながら、俳句を作ったり、評論してるよ



千曲市の姨捨地区は、「田毎の月」などで知られる月の名所。昔から俳句や詩によまれてきた場所として、県歌「信濃の国」の歌詞に登場します。神野さんに俳句の作り方を聞き、外を歩いて俳句を作ってみます。家に帰ってから内容を記事に書いてもらい、一部を11月5日(土)付の「信毎こども新聞」で紹介します。

申し込みは、信毎地域活動部へ TEL026・236・3110

ファッション

スナップ写真を募集します!



みんなのファッション写真、送ってね!秋冬ものでコーディネートして、写真を取り、信毎地域活動部へ送って下さい。郵便かメールで。男の子もぜひ!スポーツ系もオッケーだよ。友達やきょうだいでのおうぼまっています。

みんな最初は一年生

ここにだけのヒミツ!ベテラン記者の失敗談

あまりに字が下手すぎて

二十数年前の話です。当時は今ほどパソコンが普及しておらず、なにと書きかたが中心でした。私が入社2年目で配属された整理部でも、見出しやレイアウトの指示などすべて手書きです。そこで数々の失敗をしてしまいました。

あるとき、見出しで「森林組合」と書いて出したつもりが「森林組合」となって、新聞に出てしまいました。翌日、自分で書いた見出し原稿をみる

と、あまりに字が下手すぎて「林」とも「村」とも分らないひどいものでした。ほかに「木島」が「大島」になっていたことも。この時は読者の方から会社に電話があり、達っていると指摘されました。恥ずかしい…。その後も、字の下手さが原因でカタカナの「フ」が数字の「7」に、「E」が「日」になど多くのミスがありました。原稿を入力する部署から、字が読めないとの苦情を受けることもたびたびでした。

そこで、先輩からのアドバイスもあり、「下手な字は大きく書け」を実行、それからあまり打ち間違えはなくなりました。現在、整理部では見出しやレイアウトなどの新聞制作を一台のパソコンで行っており、手書きの作業はほとんどなくなり、懐かしい思い出です。

片山宏規記者 (入社27年目) 整理部 部長